

各 位

2016年6月13日
株式会社リットーミュージック

プリンス追悼企画「殿下のギター愛」
『ギター・マガジン 2016年7月号』、本日発売！



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、本日6月13日、世界的スーパースターである故プリンスが表紙を飾るギター専門誌『ギター・マガジン 2016年7月号』を発売します。

● Special Program

プリンス 殿下のギター愛

殿下、崩御—世界的スーパースターであるプリンスが4月21日、アメリカ・ミネアポリス郊外の自宅で死亡していたことが明らかになった。享年57歳。数多くの楽曲をヒット・チャートに送り込み時代の寵児となった80年代、過去の栄光にとらわれることなく新たな創造性を爆発させた90年代、そして自身のルーツであるブラック・ミュージックと向き合い音楽性を深化させていった2000年代…いつの時代も殿下の腕には、常に“ギター”が抱かれていた。マッドキャット、クラウド・ギター、シンボル・ギター……観る者の感性を刺激する個性的なルックスと聴く者の心に爪痕を残す独創性に溢れたプレイを支えた愛用モデルの数々を軸に、“殿下のギター愛”について徹底的に掘り下げていく。

- HOHNER TG-490 Mad Cat
 - CLOUD GUITAR
 - SYMBOL GUITAR by Schecter Custom Shop
 - GUS GUITARS G1 Purple Special
- …and more!

● Special Program

Guitar Magazine Championship vol.9

今年は2年ぶりに、第9回となるギター・マガジン誌上コンテストの開催が決定！ 課題曲を作ってくれたのは、圧倒的ロック・サウンドで突き進むバンド 9mm Parabellum Bullet のギタリストであり、コンポーザー／プロデューサーとしても数々の作品を手掛ける滝 善充だ。今年は従来の“完コピ部門”は設けず、“クリエイティブ部門”の一本勝負。BPM=195 で疾走する「Z」と、同じく BPM=195 のハード・サーフ・ロック「Atelier」の2曲に、オリジナリティ溢れるギターを叩き込んでほしい！

● The Instruments 1

歪み界最大のミステリー!? トーンベンダー系ファズってなんだ?

ファズ・ペダルの三大巨頭といえば、ファズ・フェイス、ビッグ・マフ、そしてトーンベンダーだろう。その中でも一番早い65年に生まれたのがトーンベンダーだが、この名機はマニアの間でもなかなか正体のつかめない、ファズ界最大のミステリアスな存在として語られている。複数のバージョンと派生モデルの存在、激しい個体差、現存する最初期モデルの少なさ……これらが重なり、“トーンベンダーとはこれなり”という基準があやふやなのだ。現在のファズ・ペダル・シーンを見渡してみると、トーンベンダー・モチーフのペダルは少なからず存在しているが、果たしてそれらはどんな構造なんだろう？ そして、どんな音なんだろう？ そんな疑問を探るのが本特集だ。トーンベンダー系ファズの愛用者であり、オリジナル機の知識もある越川和磨 (THE STARBEMS、ex. 毛皮のマリーズ) をナビゲーターに迎え、試奏音源とともにその謎を探っていこう。トーンベンダーってなんだ？ そして、“トーンベンダー系ファズ”って一体なんだ？

● The Instruments 2

イチから始める！ コンプレッサー・コンプリート・マニュアル

みなさんはコンプレッサーを使ったことはありますか？ “いまいち使い方がわからない”、“使うとギターが上達しない”、“あってもなくても変わらないでしょ”なんて思っているそのあなた。今すぐこの特集を読みましょう。コンプレッサーのマイナス・イメージを払拭する実践的な使い方がわかるはず。今回は LOSTAGE などのレコーディング・エンジニアや ACO のサポート・ギタリストとしても活躍する岩谷啓士郎を招き、実用的な7通りのノウハウ・セッティングを紹介します！ さらに、今さら聞けない“コンプ Q&A”や“コンプ名盤紹介”といったミニ・コーナーも掲載。では、イチからコンプレッサーの知識を深めていきましょう。

● 名手直伝！ 誌上スペシャル・セミナー

常識を打ち破れ！ JUON 流ダンス・ロック・イズム

国内外の凄腕ギタリストにその技を直伝してもらおうという誌上スペシャル・セミナー。今回は、

自身のバンド FUZZY CONTROL での活躍はもちろん、スガシカオや稲葉浩志のサポート・ワークでも注目を浴びる JUON が登場！ ギター・ロックと EDM をミックスしたアルバム『CHANGE THE GAME』をリリースしたばかりの彼に、“ROCK×FUNK”と“ROCK×EDM”という二つのテーマでリックを紹介してもらおう。常識に囚われない自由奔放なギター・ワークを、聴いて／弾いて体感すべし！

● Special Program

ジョージ・ハリソンのオールローズ物語
今月登場したギタリストのペダル&ボード

● Interview & Gear

- 堂本剛
- はちみつぱい
- アンドリュー・ラティマー (キャメル)
- never young beach

● Interview

- ART-SCHOOL
- 在日ファンク
- ミツメ
- ギターウルフ
- HEY-SMITH
- cinema staff

● GM SELECTIONS

「ブラック・ナイト」 ディープ・パープル
「SHININ' YOU, SHININ' DAY」 Char

他

《雑誌》

『ギター・マガジン 2016年7月号』

- 表紙：プリンス
- 定価：980円（本体907円＋税）
- 仕様：A4変型判／260ページ
- 発売：2016年6月13日
- 発売：リットーミュージック

商品詳細 <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/gm/>

ギター・マガジン Web <http://rittor-music.jp/>

1964年

51年前に作られた 幻のトーンベンダーMK1。

原形機として、現在も残存し大切に扱われる
伝説のMK1を模倣するアンプ。
同じFCD音源機とは、その音色を再現しきれない。

大増量型の後継型MK1

1964年に、最初のトーンベンダーMK1の原形機、通称「MK1」が、ロンドンで製作された。これは、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。

MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。



トーンベンダー系
ファズってなんだ?



Original Impression
本人の音の中にすさまじい魅力があります。

51年前の音の中に、すさまじい魅力があります。それは、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。

51年前の音の中に、すさまじい魅力があります。それは、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。MK1は、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。



「George Harrison and the Beatles」のセッションで、George Harrisonが演奏するTelecaster。これは、George Harrisonが演奏するTelecasterの音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。

A Story of George Harrison & All Rose Telecaster

George HarrisonのTelecasterの音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。これは、George Harrisonが演奏するTelecasterの音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。

Introduction

ローランド・テレキャスターの誕生

1950年代後半、ロンドンで活躍していたGeorge Harrisonは、FenderのTelecasterに魅了された。彼は、このギターを演奏する音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。

伝説の音源機となったMK1の経緯

1964年に、最初のトーンベンダーMK1の原形機、通称「MK1」が、ロンドンで製作された。これは、当時の音楽シーン、特にロックンロールのブームに呼応して作られた。

George HarrisonのTelecasterの音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。これは、George Harrisonが演奏するTelecasterの音源機として、現在も残存し大切に扱われる伝説のMK1を模倣するアンプ。

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング □設立:1978年4月10日 □資本金:1億円 □決算期:3月31日 □従業員数:93名(2014年3月31日現在) □代表取締役:古森優 □事業内容:音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック デジタルマーケティング室 宣伝広報

Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp